磐城日日

発行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表387番
編集兼発行人 長瀬壽一

雜誌・機關紙
チラシ
事務用印刷物
長瀬印刷所
TEL 219・387

東邦 常陽 町金庫に指定

小名浜九月定例町議会

小名浜町定例九月議会は永野町長、野崎收入役、遠藤庶務、大浦経済、馬上土木、佐藤財務、村上厚生各課長以下参與して九日午前九時十五分長瀬議長開会を宣して開かれた

▽専決第一號、保安林払下げに關する件

これは現専賣公社西の保安林四万一千余坪を工場敷地（網干場を含む）として國から坪十円で払下げを受ける申請した事項で全員一致承認

▽同第二号、魚市場前の舗装工事負担金増額に關する件

今春百六十一万八千円の縣營事業で行われた魚市場前舗装工事費が一一万五千円超過したもので町負担金八六萬六千五百圓が五万七千五百円超過負擔した件で意議なく承認

▽議案第一號、町金庫の指定に關する件

現在町金庫として指定されている七十七銀行小名浜信用金庫に追加して東邦、常陽、銀行を新らたに指定する

これは町民が各種銀行と夫々取引している関係上納税者が一應払出して再び町金庫に納金しなければならぬ不便を一掃する爲め便宜から提案されたものであるが、早急に決定しなければならぬ問題でもなく小名浜町の財政が二銀行では持たなくなつて更に追加したと云う様な町勢に疑義を抱かせる懸念もあり、その他の含みもあるから一應猶予してはとする意見（立花小野務平、比佐各議員）と納税者に便宜を與え且つまた銀行に信用を与えるとするならば認めろとする意見（馬上、西丸、飯塚勝、鈴木）が対立したが、水野町長の町自体にとつては何ら必要はないが町民に便利と考えるとする意見で採決の結果多数で指定を承認

土地買收委決定

▽小名浜町都市計畫第一土地區画整理事業施行に關する件

については議長から同區画整理準備委員として議会から長瀬啓一、木村祐、小野務平三氏を委囑した旨報告 次いで馬上土木課長、長瀬一啓）同準備委員長から報告を聞いてアッサリ諒承

▽協議案第一號、諸工場敷地買收に關する件

小野工場誘致委員長から、工場用敷地買收に關しては全議員の全面的協力を得て町發展の原動力としたいと要望があつたのち、箱崎總務副委員長から過般の總務、工場誘致合同委員会の経過報告があつて、工場敷地買收委員に水野町長、齋藤總務小野工場誘致各委員長に一任する事を全會一致で決定

晝食後再会した議会は

▽魚市場前の海水タンク設置

▽役場廳舎附属建築物請負方法

の二件を上提して審議を續けた

議員出席簿

（遅刻）木村祐、馬上喜一、飯田宗秋、永田谷平

欠席 金澤勉、菅原勁 小野直千賀、橋本佐多藏

クスリなら
長生堂薬局
小名浜町 [illegible]

小学校改築

予算千五百萬

泉町議会協議会で決定

泉町議會臨時協議会は七日午前九時より町役場会議室に開き、次の議案を審議した

議案第一號＝町常任委員会條例改正の件

會條例第四條に次の一項を追加する

五、都市計画委員會

①都市計畫に關する調査並びに研究②都市計画に伴う諸施設及び工場誘致等に關する附帯事項

議案第二号＝町負擔及び出資金に關する件

一、五万円也 弱多方部青年体育大會費

一、一万円也 福島ラジオ出資

以上を可決、次いで協議事項

一、小学校改築費に關する件の審議に入つた

先ず教委側より小学校々舎改築に關し、年次收容見童数の増加に伴い老朽校舎改築の必要ありとして校舎改築設計、坪数、予算額などについて詳細に亘る説明があり、續いて教育熱旺盛な活發なる質問の矢が向けられ、予算の面で一大激論戦が展開された

その説明によると二階建校舎一棟（教室数、坪数など原案省略）を予算一千三百二十七万六千七百五十円で建設するものであり、現在材料昂騰の折柄不可能ではないか……と多数町議連の聲により取りあえず予算額一千五百万圓を計上することになつた

など一もめした、結局は予算一千五百万の線で二階建校舎を建築することに決まり、建設委の最小限度に、教委は今少しの助成を……の意見も、これら予算範囲内によつての設計を教委側に附託した

下川に第二小を

地元議員親身で要望

これに關して町財政、町民の寄附に激論を演じたそれら議員の聲を綜合すると、①一戸当り四千円—七千円の寄附には反対する②部落懇談会を開いて町民の聲を聽取しては如何③さきに建設された中学校は總工費六百万であつたにも拘らず未だ相當數に上る借金がある④財源には限度がある、農家のフトコロ具合は大いに悪い、今年の稲作減收は三割—五割とみられる⑤現在下川、黒須野、須賀方面から一、二年生が風雨の中を二里余りの道を通學している觀点から将来を考慮するとき第二小学校を下川邊に建設しては如何、そして下川方面の人々が今度の寄附を快よくなし得るかどうか、下川選出町議の意見を聞くべし⑥若し下川に建設するとなれば本予算は削除して平家建でもよいではないか

原動機自轉車に課税

江名町議会追加予算審議

江名町臨時町議会は十日午前九時から役場会議室で開き、二十八年度追加更正予算、江名浜上水道更正予算など四項目を審議する

上提される議案は▽町税條例中改正條例設定の件＝これは原動機付自轉車税額五百円、入場税の税率は入場一人一日について二十円とする、を町税條例の中に加入するものである▽二十八年度における期末手当の支給の條例に關する條例設定の件▽町長の權限に屬する事務を分掌させるための課設置に關する件＝現在の經濟課を總務に編入して税務、民生の三本立てにする、のほか協議事項としては◎國立翠が丘病院に對し給水の件◎走出埋立地斡旋に關する件などである

なお全町追加更正予算は一千一百四十九万六千三百八十七圓（現在までの予算三千八百八十二万六百三十一円）、江名上水道歳入歳出追加更正予算は四百五十三万五千円（現在までは一千三百萬圓）となつている

追加更生予算など審議

江名總務委

廿八年度追加更正予算などを審議する、江名町臨時町會に先立ち全町總務委員会は九日午前十時から役場会議室に開いた

天氣概況 9

「本日」北東の風で始めは薄雲から遅くなつてから時々小雨が降りましょう

「海上」始めは穏やかでのち多少風波が出ましょう

野菜市況 8

（小名浜中央青果市場）たまご一三～一四、二〇甘藷三六～七六なたまめ一二〇～一四〇玉葱四五～六五きうり五〇～七五大根二〇さといも九〇～一五〇なす五五～六五馬鈴薯四〇～七〇ごぼう七〇～八〇なし七〇～一四〇じょうが一二〇切いも二二五ねぎ一〇〇～一一五

私の意見

鹿島合併と廳舎問題に就いて ②

小名川岡 松田生

更に長瀬助役の説明に依れば、工場誘致敷地として七十万坪（三〇万坪と四〇万坪の二ケ所）を豫定し、更に一〇〇コの工業用水利用も計画されている由である。小名浜は海に生きる共に又工業都市としても生きねばならないし、其處に大小名浜建設の目標があり意義も價値も存在する譯である

今回鹿島の合併は小名濱進展への一歩を事実を以つて立證したものとして歴史的感激を覺ゆるものである。

偶々廳舎新築も基礎工事を終り、常磐土建の懸命なる努力に依つて豫定の進行をみてをる由御紙の報導にて知り誠に意を強くする次第である。之が建設資金中一般町民寄附二〇〇万円に付ては、更に八日に區長会議に於て協議される模様であるが其の分に應じ町民擧つて協力されることを心から念じのやまない。廳舎は私共の「もの」であり、私共の手に依つて建設さるべきものであり、その外の何ものでもない事を私共は十分知るべきである、勿論平等額の負擔に堪えぬ向きもあるであらうが、力あるものはその分に應じ、隣人互助の精神に立つて目標達成に協力されることが願わしい

私の隣組は目標額の完了をみた管である。

私は一月以來、家内と子供にも計り、廳舎新築寄附のため小遣の節約を実行繼續しておる、尚、慶弔時の寄附行爲も提唱者である私は、亡母の葬儀、娘の結婚の二回に亘り僅少乍ら寄附させて頂いてゐる。自分のものとして考へれば、貧者の一灯乍らも分に應じての協力は出来る様に思はれる。今般羅災による復興寄附金当町分を名簿から拾つてみると

五十万円一人、五万千円一人、二万三千円一人、一万三千円一人、一万千圓一人、一万円一人、八千円一人、六千圓一人、五千円二人、三千圓十人、二千二百五十円一人、二千圓二十三人、千五百円一人、千円百一人、八百圓二人、七百円五人、六百圓六人、五百円百九人、三百円一人、即ち百七十九名の寄附金が八十三万餘円となる譯である。一日も早き目標額の達成を念願いたしつつ（九月五日稿）

[illegible]

妻キク儀腦溢血にて九月八日十一時五〇分死去致しました就いては生前の御交誼を深謝すると共に謹んで御通知申上げます
追つて葬儀は九月十日午後二時自宅に於いて告別式を相營みます
昭和二十八年九月九日
小名浜町花畑
野口工務店
喪主 野口繁
親戚總代 作山傑

内科
小兒科
レントゲン科
看護婦見習急募
小名浜町花畑三七
賀澤醫院
院長 賀澤貞雄
電話二九三番

12日まで
チャンピオン
第三部
大菩薩峠
上映中
金美館

都服裝店
[illegible]

募集洋服見習工
若干名 男女問わず
中野洋服店
小名浜町船曳場九

登録商標
弘進
三馬弘進
最高標準の耐久力を保證する
三馬弘進のゴム製品
水産用
短合羽・胸付ズボン
長合羽・胸付前掛
腕貫・長靴
小島ゴム店
小名浜町本町 電話340番

第三種郵便物認可　購讀料一ヵ月80円 一部賣3円
磐城日日
昭和28年（1953年）9月10日 木曜日　第928號

學生の選擧權所在は親許

選管委、名簿作製に新解釋

小名浜町選擧管理委員会は先程の委員会に於て本年度九月十五日現在の基本選擧人名簿を作製することになり二十日迄に選擧民の登録を行うことになつた

小名浜町は来春早々、町長、縣知事と重要な二大選擧を控えているので慎重を期して絶対名簿もれのないよう基本選擧人名簿を作製しようと細心の考慮をはらつている

▼選擧權有資格については九月十五日現在迄に小名浜町に三ヵ月以上居住する成人で本年六月十六日以前に小名浜町に移住していれば有資格者となる

▼年令は十一月二十四日よりこの基本名簿が發効するため昭和八年十二月二十日以前に出生した者であれば有資格者となる

▼病院等に入院療養しているものは、当然住居所在地をもつて住所とし、病院などの所在地には選擧權を認めない

▼問題の學生については病人と同様修学地、下宿先には選擧權を認めないことになつている

但し苦學その他に依つて親の生計とは別に獨自の生計を営んでいるものに限つては居住地に選擧權を認めると云う解釋である

▼又出稼ぎ人については例えば小名浜に三年なり五年なり勤めていても妻子家族が別地に住居を有してそれに仕送りをしている者は當然住居は妻子の家族の住居と同一であると見なして小名浜には選擧權を認めない

と住居問題にからんで選擧權所在地に新らしい解釋を下しているので登録についての注意が促されている

なお同委員会では係官を各隣組単位迄派遣して万一にも登載もれのないよう努力することになつているので町民の格段の協力が切望されている

榮冠は天王崎へ

湯本町長杯少年野球

湯本町の町長杯爭奪少年野球大會の榮冠は燦として天王崎に輝いた

各区戦績次の通り

天王崎5A－4下淺貝
天王崎19－4台の山
東区4－18A龍ヶ澤
龍ヶ澤26－16鹿島一區
関船5－9上淺貝
上淺貝8－9傾城
辰の口3－4八仙

▼準々決勝
台の山4－19天王崎
龍ヶ澤26－16鹿島一
上淺貝8－9傾城
八仙2－13寶海

▼準決勝
寶海11A－1傾城
龍ヶ澤4－8A天王崎

▼決勝
天王崎3－2寶海

湯本公民館テニス大會

湯本町公民館主催の第一回町民テニス大会は来る二十日午前八時半より寶海テニスコートで開催される

參加資格は學生、一般及び女子で（常磐炭礦庭球部員選手を除く）先着三〇名で〆切る

申込みは十七日午後五時まで公民館事務局、抽籤は十八日午後六時半よりとなつている、賞品多数

なお同日レクリエーションとして草野村にてツリ大會を催す

教育目標に重点

江名二小で教育新方針

江名町第二小學校（校長若松郁哉氏）では第二學期の教育目標として次の方針によつて兒童教育の万全を期している

まず「發表方法の向上」であるが、これは放送發表の完成と共に拍車をかけているほか機会あるごとに習字、圖畫、工作、音樂の展示会及び發表會を行い、視覺教育の面からも一石二鳥の効果を挙げている

このほか「道德教育」、「報恩感謝」にも重点をおいて新教育方針に完璧を期している

湯本土木委員会

湯本町土木委員会（会長白石初太郎氏）は九日午後一時から町役場会議室に開き、公營住宅建築その他について協議する

江名農業委

江名町第十三回農業委員会（會長秋山徹氏）は八日開き、農地の讓渡人及び譲受人から賣買の許可申請のあつた九件について協議をなした

下神白公民分館地鎮祭

江名町公民館下神白分館の建設地鎮祭は九日午前九時から伊藤助役、馬目教育長、馬目下神白区長ら地元民多数の出席で行なわれた

懸案の下神白分館は全町下神白武城地内に建坪三十坪の平屋で工費六十五万圓、十一月一杯で完了の見込みである

泉婦で役員会

泉町婦人会（会長高畠ミチさん）役員会は八日湯本町に開き、会の運営、運動会などについて協議した

湯本では十一日説明會

湯本町の選擧名簿申告説明会は十一日午後一時より公民館に開かれる

運動会各地で競盛

江名は廿三日 中學が皮切り

江名町小中學校秋季運動会は次の日程でそれぞれ各校々庭で午前八時から開かれる

◎中学校…九月二十三日
◎第二小学校…仝廿五日
◎第一小学校…仝廿九日

なお仝町では両小學運動会に七十才以上の老齢者を招き、敬老会を行うことになる

渡辺は廿六日に 村民合同運動会

渡辺村小中学校並びに村民合同秋季大運動会は来る二十六日中學校庭に開かれる

泉小は十五日 中學は廿六日

泉小學校秋季運動会は来る十五日開催されるが、十一日保育所園兒を混えて予行演習を

また今中學校運動会は二十七日開催、二十一、二十四の兩日予行演習を行う

泉中に若さの祭典

菊多方部青年陸上大會

第五回菊多方部青年陸上競技大会は、菊多方部青年会連絡協議会主催、泉町、仝教委、仝青年會、菊多方部町村会後援でいよいよ来る二十日泉中学校々庭に盛大に開幕されることになつた

参加選手は泉、渡邊以南一〇ヶ町村で、男子種目は一〇〇、二〇〇、四〇〇、八〇〇、一、五〇〇、八〇〇リレー、俵かつぎ走巾、走高跳、砲丸投

女子…一〇〇、二〇〇、四〇〇リレー、走巾、走高跳、砲丸投

雨天の際は二十三日の予定

廳舍募金新案なし

區長會二百萬達成申合す

小名浜町區長会（会長太田武彦氏）九月定例會は八日午前九時半から公民館ホールに開かれた

町長、齋藤庶務、村上厚生課長、永山選擧管理委員長ら参與して先ず永山選擧管理委員長から基本選擧人名簿作製に当つての協力要請があつて、選擧權の解釋をめぐつて質疑應答し、現在迄に隣組を組織してない住民があり、住民登録の未濟などとからんで、その様なところにミスの生ずる要因があるのではないかとして町当局、區長会として隣組を組織して町政を知り恩恵を受けるよう勸誘することになつた

また今回の寄附問題の募金方法についても相当の議論が百出したが何れも不可能に近く結局一口二百圓として廳分の寄附をお願いし決つして强要はしない、金は九月から四か月に亘つて分納する方法に落ちついた

なお徴収には各隣組長が毎月組内をとりまとめ各區長が更にそれをまとめ町會計に納入することになる

トド崎沖に大群

サンマ早くも南下

サンマ解禁日の十二日午前六時を待つて漁は異狀な緊張であるが、九日晝ごろ石の森漁業協同組合から小名浜漁協に「トド崎の北東九十二浬、水温十七度にサンマの大群があり」と入電があり浜は活氣が漲つた

南下が北海道沖で停滞していると云われていたが、この報により船主は思わず歡聲をあげ、大漁間違いなしと受入態勢にテンテコ舞である

縣廣報車漁船保險宣傳

縣の廣報車が当代の人氣者平和太郎を同乘させて盡きぬ愛きようを振りまきながら九日小名浜に到着し午後六時から地區漁協で映画と平和太郎による腹藝をお目にかけ、のち十日は勿来会場で行うことになる

この廣報車は漁船保險の普及のため七日江名を皮切りに來浜したもので午後一時から漁船保險についての説明會を行つて巡回している

洋傘専門
高野昌平商店
小名濱町中島

印刷
御用命ハ
電219

クロバー印
硫安
日本水素

[illegible]服店
小名濱町 [illegible]

各種印刷の御注文は長瀬

バンコク ミシン
月払2,000円ヨリ
御相談に應じます
チケツト御利用下さい
大和田ミシン商会
小名浜町西町

純毛地専門
皆様に専門店として責任を持つて御薦めできる
秋冬純毛服地を取揃へました
チケツト御利用下さい
電話下されば參上致します
大井洋服店
福島縣小名町浜 TEL630
茨城縣太田町 TEL531

輪界ノ名門 第一位通産大臣賞受領
マグネット号自轉車
代理店
協力トヨモーター及び各種モーター取扱店
高橋自転車店
小名浜町横町（マスガタ）

醫療法人 松村病院
院長 松村亨
外科 整形外科 性病科 主任 高田辺成
醫員 岸野勇
内科 胃腸科 呼吸器科 主任 小本節哉
醫員 松村隆夫
婦人科
レントゲン放射線科
歯科
臨床検査部
薬局
主任 新妻亨
技手 草野春實
助手師 松村政治
主任 吉田吉之雄
技工部 岸本隆助
主任 志賀道男
助手 菊池政夫
薬劑師 [illegible]政次
★看護婦募集
本院 平市南町三（電一〇七）
第二病室 平市小太郎町一八（電一六九六）

長山電機商会
小名浜町本町六八 電[illegible]
毎度有難う御座います
百円以上御買上げ毎に全商品の割引券を差上げます
電燈動力設計請負工事一式
螢光燈取付工事一式

印刷なら……小名濱のナガセに

絶好の撮影シーズン来る
カメラを肩に海に山に!!
カメラ
寫眞材料
現像、引伸
伊勢丹カメラ店
小名浜町古港三
電話四〇四番

チケツト歡迎
皆様の店
平マーケツト
小名浜第二小學校前 電二七七
お買物には先づ平マーケツトを思出して下さい私共は常に貴方の御相談相手として待機しています
スポーツシーズン
野球帽ユニホームグロブ
男女學童用運動着運動靴
旅行セツトボストン手提
レインコート雨靴、洋傘
男女子供服と婦セーター
毛糸カネボー群羊各色揃
カネボー一封度2000円
ブラウス学生服セーラ服
秋物服地と夜具地 入荷
夜具の手入……フトン綿
化粧品柳屋メヌマ
ジユジユパピリオ 80円
菓子切手葉書印紙たばこ
ちどりフトン綿、夜具地
經費をかけずに良い品安く